

令和元年度 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 新人柔道大会 要項

- 1 主 催 伊勢崎市佐波郡教育委員会連絡協議会 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟
- 2 主 管 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 柔道部
- 3 大会期日 令和元年9月28日（土） 7時00分 開場
7時50分 集合・計量
8時30分 審判会議
8時45分 開会式
9時10分 試合開始
- 4 会 場 伊勢崎市境武道館 0270-74-3905
スポーツ振興課 0270-74-1113
- 5 大会役員
- | | | | |
|-------|-------------|------------|-------------|
| 専門部長 | 松本 明良(宮郷中) | 石川 弘子(第一中) | 新井 聰明(第二中) |
| 専門副部長 | 菅沼 明弘(境南中) | 佐藤いづみ(第三中) | 高橋 哲(第四中) |
| 専門委員長 | 三輪 洋介(宮郷中) | 武 雅彦(殖蓮中) | 丸山 瞳(宮郷中) |
| 委 員 | 竹林 千晴(第一中) | 木下 志伸(赤堀中) | 木暮 寛幸(あずま中) |
| | 中澤 應(第三中) | 佐藤 康(境南中) | 中鳩祐一郎(玉村中) |
| | 高田 洋平(第四中) | 柿沼 翔太(玉村中) | 高橋 智哉(玉南中) |
| | 坂部 洋平(赤堀中) | | |
| | 小野 良美(あずま中) | | |
| | 渡邊 健斗(玉村中) | | |
| | 野口 高弘(玉南中) | | |
- 6 審判規定
- 国際柔道連盟試合審判規定(2018～2020)および「少年大会特別規定」による。また、全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法、佐波伊勢崎中体連申し合わせ事項によって行う。
- 7 選 手
- (1)男子団体戦は、各学校単位編成とし、監督1名、選手5名、補員2名とする。
 - (2)女子団体戦は、各学校単位編成とし、監督1名、選手3名、補員1名とする。
 - (3)選手の編成は、体重の最も多い者を大将とし、以下順次体重順に編成するものとする。
なお、補員を入れるときは、順次編成替えをする。
 - (4)男子団体戦で、選手が5名に満たない場合には、大将より順に編成し間に欠員を置かない。また、女子団体戦については、選手が3名に満たない場合には、先鋒を空けるものとする。
 - (5)補員の充当により抜けた選手は、その日の一連の試合には再び出場できない。
 - (6)個人戦は中体連柔道部事前調査により、階級別で行うものとする。
ただし、男女とも団体戦に出場した選手は、出場できないものとする。

8 試合時間

《団体戦》男子：予選リーグ2分 決勝トーナメント3分 女子：決勝リーグ3分
《個人戦》3分

9 試合方法

《団体戦》団体戦における優勢勝ちの判定基準に「僅差」を取り入れ、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。「僅差」とは、指導差が2あった場合に指導の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。

(1) 男子は1組を4校の2リーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位3校によるトーナメント戦を行う。女子は5校による決勝リーグ戦を行う。

(2) リーグ戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

(ア) 勝ち数による。

(イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、引き分けとする。

(3) リーグ戦の順位は、次の順によって決定をする。

(ア) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

(イ) (ア)において同率の場合は、勝ち数の合計による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、勝ちの内容による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、負け数の合計による。

(オ) (エ)において同等の場合は、負けの内容による。

(カ) (オ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。

ただし、3校同等の場合は、代表選手3名によるリーグ方式を行う。

(4) トーナメント戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

(ア) 勝ち数による。

(イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。

《個人戦》

(1) 男子は3階級、女子は2階級でトーナメント戦を行う。

(2) 個人戦における判定基準は、「技あり」または「僅差」とする。「僅差」とは、指導差が2あった場合に指導の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。

10 表彰

団体戦の優勝校には優勝杯及び賞状を授与し、準優勝校・3位校には賞状を授与する。

個人戦は、各階級の上位4名に伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟柔道部からの賞状を授与する。

11 代表資格

《男女団体戦》

男子は優勝校、第2位校、第3位校の2校の計4校、女子は優勝校、第2位校、第3位校の計3校が代表資格を持ち、県大会に出場する。

《男女個人戦》

県大会は実施されないので、代表としての資格は持たない。

12 佐波伊勢崎中体連申合せ事項

《団体戦》

- (1)男子予選リーグの順位を決定する代表戦の試合時間は2分とし、得点差がないときは時間無制限の延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。
- (2)女子決勝リーグの順位を決定する代表戦の試合時間は3分とし、得点差がないときは時間無制限の延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する
- (3)決勝トーナメントにおける代表戦の試合時間は3分とし、得点差がないときは時間無制限の延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。

《個人戦》

- (1)得点差がないときは時間無制限の延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。

13 その他の事項

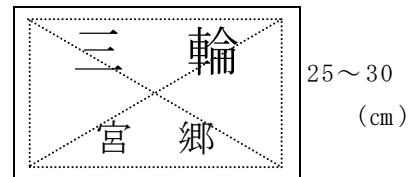
- (1)選手は規定のゼッケンをつける。ゼッケンのない者は、出場できない。
なお襟から5~10cm下に下記のように付ける。
- (2)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿)を着用する。
女子の黒帯については白線なしのものとする。
- (3)相手を威圧するような行為(染髪・眉剃り等)をしている生徒は、出場できない。
- (4)脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
 - ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること。)
 - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (5)試合時の帯の色は、若番(対戦表の上または左)を赤とし、古番(下または右)を白とする。
- (6)正式申込み書は、当日提出するものとする。
- (7)試合当日、「団体戦参加申込書」とともに、団体戦の対戦用に下のメンバー表(模造紙1/4)を男子は2部、女子は1部を受付へ提出する。

(メンバー表)

先	次	中	副	大	学 校 名
補	補				員

(模造紙 1/4)

(ゼッケン) 30 ~ 35 (cm)



- ・指がどこにも入ったり、ひっかかったりしないように縫う。
- ・男子は黒、女子は赤文字
- ・対角線にも強い白い糸で縫いつける。